

男女の「働く」ってどこまで平等ですか？

～雇用機会均等のケーススタディ～

ねらい： 法令では禁じられているが、特定の性で職を得づらい場合があることを理解させたうえで、なぜそのような状況が問題なのかについて探究させる

授業スタイル	ケーススタディ+探究的な学習
扱うことが適切な教科等	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科[青年期の自立、生涯の生活設計、等] ・公民科[労働問題、労働者の権利、等] ※日本史でも取り扱い可能
どのタイミングで扱うか	教科での適切な時期に
配当時間数	1時限(50分を想定)
この授業で身に付けて欲しい力	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の背景を考える力 ・物事の本質を深く突き詰めて考える力 ・個別具体のケースから問題を見つける力 ・深く話し合い、考える力
この授業で理解させたいこと、気づかせたいこと、身に付けて欲しい知識等	<ul style="list-style-type: none"> ・男女雇用機会均等法のポイント ・採用における性別による差別の禁止 ・性差と個体差に関する自分なりの考え
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> ①導入とテーマの提示：男性が多い職業、女性が多い職業について問いかけ ②学習：ケースを通じた法制度の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・特定の性であることを理由に職を得づらい3つのケース(架空の例) ③探究：制度の背景についての探究的な学習(グループでの話し合い) ④振り返り
使用する教材等(読み物、ワークシート、動画、ウェブサイト等)	<ul style="list-style-type: none"> ・添付のケースシート ・厚生労働省『知って役立つ労働法』
協働する外部人材等	特になし
協働の際のこの授業案に特徴的な留意点等	特になし
学習の評価の方法の例	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの内容の共有による ・振り返りシートによる
この授業案からの発展的な学習の可能性について	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の問題や判例を用いた学習 ・厚生労働省『働く女性の実情』を用いた学習 ・雇用均等政策の歴史に関する学習

授業の流れ

※時間はあくまで目安です

時間(所要)	進行	内容	留意点・備考
0:00 (5分)	導入とテーマの提示	○男性が多い職業、女性が多い職業にはどんなものがあるか、それはどうしてだろうという問いかけを行い、生徒に自由に考えさせる	必要に応じ生徒をグループに分けておく
0:05 (20分)	学習：ケースを通じた法制度の学習	○生徒への資料を提示し、読ませる(※これらは架空の例) ○各ケースについて会社等の対応がダメ(違法)なものかどうか問いかける ※理由も含めて考えさせる →自由に生徒に考えさせる、もしくはペア又はグループで話し合わせる ○実は「全部ダメ」であることを明かしつつ法制度について説明する ・男女雇用機会均等法のポイント ・特に性別を理由に採用しないことは、原則として禁じられていること	『知って役立つ労働法』や、家庭科の教科書、資料集等を用いてもよい
0:25 (20分)	探求と共有：背景についての探究的な学習	○法制度はなぜそのような考えをとっているのか、3つのケースはなぜダメなのかを考えさせる ※個人で考えさせる ※グループで話し合わせる ※断っている会社等の理屈はなぜ認められないのかについて、検討するにあたって応募者の反論を踏まえて考えるよう促す ○話合いの内容をクラスで共有する ○この部分のまとめとして、授業者からは、法制度のことはもちろんのこと、「個体差と性差の混同」にも触れ、単に「憲法や法律でそう決まっているから」という建前論に終わらないようにする	
0:45 (5分)	振り返りとまとめ	○振り返りシート等を用いて生徒に行わせる ・今日の授業で考えたこと、気づいたこと ○ペアで話し合わせ、その後クラスで共有する	・振り返りシートの配布 ・各自記述して提出

1章

2章

3章

17

4章

5章

6章

7章

8章

ケース

ケース A

保育士として働きたいと学校に通う男性。就職活動をする学年になり、前からいいなと思っていた保育園の職員募集に応募しようと思い、連絡してみましたが、...

男性 「ぜひそちらの保育所で働きたいのですが」

園長 「うちの園では、男性はちょっと。。。男性は声が大きくて、女の子が怖がることもあるし、うちの保育士は女性ばかりで上手いかないんじゃないかと思うんですよ。。。」

男性 「えっ、でも私はそんなに声も大きくないですし、実習でもそこの園長さんに『泣いちゃった子どもを笑わせるのがとても上手ですね』と言われましたし。。。」

園長 「そうは言ってもね。。。女兒の親御さんが嫌がったりもするんですよ。。。男性用の更衣室とかもすぐには用意できないし。。。」

男性 「うーん。。。」

ケース B

車が好きで10トントラックドライバーとして稼ぎたいと応募してきた女性。会社に履歴書を送ったところ電話がかかってきて、...

女性 「はい、私はぜひトラックドライバーとして働きたいんです!」

会社 「うちはちょっと女性はね。。。大型トラックしかないし、結構走りにくい道走ってもらうことが多いしね。。。」

女性 「いえ、大丈夫です。ちゃんと必要な免許も持ってますし、元々運転は大の得意です!」

会社 「いやー、想像以上にハードだよ、、、うちの扱ってる荷物はかさばるのが多いし。。。あなたのために言ってるんだけどな。。。」

女性 「私は体力にも自信がありますし、ちゃんと力仕事も出来ますので!」

ケース C

「ものづくり」に関わりたくて機械を製造する会社に応募しようとした女性。募集のあった会社に電話してみたのですが、...

女性 「私、ぜひそちらの工場で働きたいんです。」

店主 「いやー、ちょっとうちは工場じゃ女性を雇ってないんだわー。一人もいないんだよねー。」

女性 「え、どうしてですか女性だからできないってことないですよ？私、機械の学校も出てますし、手先も器用ですし、絶対に仕事ができるはずですよ!」

店主 「いやいや、そんなこと言ったって、女性用の制服もないし、更衣室もないしね。。。」

女性 「女性用の作業服とか専門店ですぐに買えるじゃないですか!更衣室はズットないと困りますが。。。」

※これらは学習用の架空の例です

振り返りシート

1. 今日の授業を受けて、最も印象に残ったのはどういうことですか？

2. 特に同級生と話し合いをして感じたことや、思ったこと、考えたことはどういうことですか？

3. 今日の授業を受けてみて、「さらに深く考えたり学んだりしてみたい！」と思ったことは何ですか？

4. その他今日の授業を受けて、「性別と就職」又は「性差と個人差」について思ったこと、考えたことを自由に書いてください。

年 月 日 年 組 名前：